



ほけんだより 3月号



令和6年度
あゆみ保育園

園長 江郷 勝哉

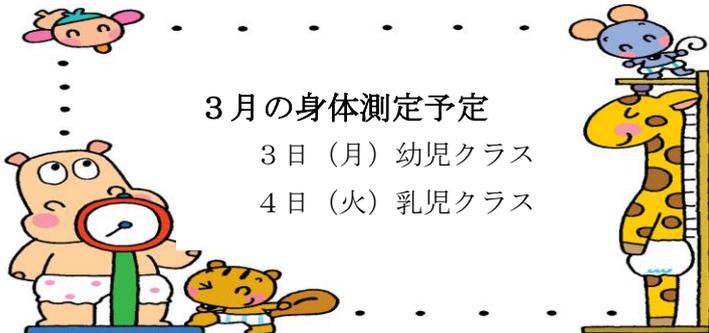
看護師 高瀬 浩子

令和6年度も残すところあと1カ月です。保護者の皆様には、様々な面でご理解とご協力をいただきありがとうございました。4月になると、年長児は小学校に進学、在園児は進級があります。最後の1カ月を、お子様の成長を振り返りながら、大切に過ごしていきましょう。

<先月の感染症（1月20日～2月20日）>

新型コロナウイルス	幼児	1名
インフルエンザA型	幼児	2名
胃腸炎	乳児	2名
(その他)		

乳児クラスで「嘔吐・下痢」が流行しました。



3月の身体測定予定

3日（月） 幼児クラス

4日（火） 乳児クラス

<3月1日（土）～7日（金）は「子ども予防接種週間」です！>

子どもの予防接種への関心を高め、予防接種実施率の向上を図ることを目的として、「子ども予防接種週間」が実施されます。この機会にぜひ、お子様の母子手帳を見て、受けていない予防接種がないかどうかご確認ください。

●「麻疹・風疹ワクチン」が足りなくなっているとの情報もありますので、医療機関で確認しましょう。

<3月3日は耳のです 耳を大切に！>

この日が「耳の日」と言われるのは、「3（み）3（み）」の語呂合わせ、もしくは「3」が耳の形に似ているからと言われています。この機会に、耳の病気がないか、気にかけてみましょう。下記のような症状や、よく耳を触る・機嫌が悪い等の変化がある時は、耳鼻科を受診しましょう。

<外耳炎>

耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿しんができた状態。耳あかが原因になることもある。湿しんができると痒くなり、耳を触ると痛みが生じ、発熱や膿が出ることもある。抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まる。

<急性中耳炎>

風邪が原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。激しい耳の痛みと、高熱、一時的な難聴・閉そく感がある。耳だれが出たり、乳児の場合は、嘔吐が見られることも。化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まる。繰り返し中耳炎を起こすと、滲出性中耳炎になりやすいので、きちんと治す必要がある。

<^{しんしゅつせい}滲出性中耳炎>

中耳内に分泌液がたまった状態。風邪や、急性中耳炎の繰り返しで起こる。痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、閉そく感・耳鳴りがある。必要に応じて鼓膜を切開し、たまった液を抜いて様子を見る。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多い。痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえ方や、子どもの様子の変化に注意する。

おたよりを紙媒体で欲しい方は、事務所までお越しください。また、おたよりは園のホームページにも掲載しております。